

松原市指定有形文化財の指定について

- 種 類 : 有形文化財 美術工芸品 考古資料
名 称 : 立部遺跡火葬墓出土須恵器蔵骨器(壺・蓋) 附火葬骨
ほか火葬墓内遺物
員 数 : 一括
所在地 : 松原市阿保 1 丁目 1 番 1 号
所有者 : 松原市
指定日 : 令和 4 年(2022)9 月 29 日

概 要

今回、新たに市の指定文化財に指定する「立部遺跡火葬墓出土須恵器蔵骨器(壺・蓋) 附 火葬骨ほか火葬墓内遺物」は、松原市立部・岡・柴垣・西大塚に位置する立部遺跡で発見された平安時代初頭(9世紀前半)の火葬墓に納められていたものです。

この火葬墓は木炭槨に準じる構造で、そこに納められた須恵器製の蔵骨器は壺と蓋が粘土で密封されており、内部には熟年(40～59歳)男性1人の火葬骨が良好な状態で埋納されていました。蔵骨器は畿外の窯で生産されたものですが、自然科学分析により被葬者は火葬墓の周辺で火葬され蔵骨器に納められたことが判明しています。

火葬墓が発見された地点では、古墳時代中期～平安時代前期にかけて連綿と在地氏族の墓地が営まれたことが発掘調査により確認されており、墓の構造と併せて考えた結果、被葬者の男性は従五位以下の官人を輩出する氏族の出身者であったと考えられます。

以上のように、良好な状態で発掘され多くの情報を得ることができる本資料は、古代の丹比郡における葬送儀礼や在地氏族の墓制の一例を示す貴重な考古資料であり、考古学及び古代史の研究においてきわめて学術的価値が高く、本市指定文化財にふさわしいものです。



【写真1】. 火葬墓 ST2005 出土遺物・火葬骨・木炭・焼土



【写真2】 火葬墓 ST2005